

今や節分の定番である「巻き寿司の丸かぶり」実は此花区伝法（当時の申村【さるむら】）が発祥と言われています！

このはな
発祥！



巻きずしの丸かぶり



非公認 西原此花区長の付き人「ぶり☆でび」

昔の節分の日、申村（今の伝法）では、「世念講（よねんこ）」といわれる講があり、そこでは村の若者や船頭衆や川人夫が集まって、夜通し雑談や将棋・囲碁・花札、墓場への肝試しなどを楽しんでいました。このとき「巻き寿司」を食べることが当時の習慣でしたが、人数が多いので、巻き寿司を切り分けては間に合わず「腹がすいた。切らずにそのままおくれ」の聲が高まり、丸かぶりするようになったのが発祥と言われています。（郷土史文献「伝法のかたりべ」参照）

